

2022年度（R4年度）

環境経営レポート

活動期間：2022年4月～2023年3月



NGKファインモールド株式会社

発行日：2023年5月31日



【 目次 】

◆計画の策定 〈 Plan 〉

1. 組織の概要	．．．．．	P- 1
2. 対象範囲	．．．．．	P- 2
3. 環境経営方針	．．．．．	P- 3
4. 環境経営目標	．．．．．	P- 4
5. 環境経営計画	．．．．．	P- 6

◆計画の実施 〈 Do 〉

6. 環境経営計画に基づく実施体制	．．．．．	P- 7 ～ 8
-------------------	-------	----------

◆取組状況の確認及び評価 〈 Check 〉

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	．．．．．	P- 9 ～ 1 6
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	．．．．．	P- 1 7

◆全体の評価と見直し 〈 Action 〉

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	．．．．．	P- 1 8
-----------------------	-------	--------

◆その他 活動トピックス	．．．．．	P- 1 9 ～ 2 0
--------------	-------	--------------

◆計画の策定 〈 Plan 〉

1. 組織の概要

(1) 事業所 及び 代表者氏名

事業所名 : エヌジーケイ・ファインモールド株式会社
代表者 : 代表取締役社長 本林 徹也

(2) 所在地

本社 : 愛知県半田市港町四丁目 5 番地 6
中部営業所 : 愛知県名古屋市瑞穂区新開町8-18
関東営業所 : 埼玉県川口市栄町3-3-13
群馬事務所 : 群馬県太田市薮塚町1286-9
関西営業所 : 大阪府大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 3 号 肥後橋レックスビル7階

(3) 環境管理責任者

安全環境品証部長 : 森本 県一
連絡先 T E L 0569-23-5885 F A X 0569-23-5974

(4) 事業概要

プラスチック成形用金型、タイヤ成形用金型の設計・製造販売
及び金型部材の販売

(5) 事業規模

製品出荷額 : 46.0億円 (2022年4月～2023年3月)
主要製品生産量 : 233.6 t (" ")

	本社エリア	営業所エリア			
		中部営業所	関東営業所	群馬事務所	関西営業所
従業員	81名	15名	7名	2名	4名
延べ床面積	7,294㎡	243㎡	196㎡	47㎡	109㎡

(2023年3月現在)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

登録事業者名：	エヌジーケイ・ファインモールド株式会社		
対象事業所：	本社エリア		2018年11月に認証取得
	営業所エリア	中部営業所	2020年11月に認証取得
		関東営業所	2021年11月に認証取得
		群馬事務所	
		関西営業所	
業務：	・プラスチック成形用金型の設計、製造 ・タイヤ成形用金型の設計、製造 ・金型部材の販売		

(2) 活動レポートの対象期間 及び 発行月

対象期間：2022年 4月 ～ 2023年 3月

発行日：2023年 5月31日

改訂日：-

3. 環境経営方針



環境経営方針

「高い品質の製品とサービスを通じて社会に貢献する」ことを企業理念にしている
N G Kファインモールドは、金型の設計・製造販売、金型部材販売等の事業活動を通じ、
地球環境問題に貢献していくものとします。

- 1 環境に関連する法律、条例、その他の要求事項を順守します。
- 2 事業活動において、不良削減・生産性改善および省エネ設備への切替を通して、
環境負荷の低減に努めます。
 - (1)CO2排出量の削減に取り組みます
 - (2)廃棄物の削減とリサイクル化に取り組みます
 - (3)事務用品のグリーン調達に取り組みます
 - (4)節水に努めます。
- 3 当社の特徴を活かし、お客様の環境負荷低減に貢献できる製品を提案していきます。
- 4 環境経営の継続的改善を推進します。
- 5 従業員の環境意識の向上を図るため、教育、地域貢献活動を行います。

制定日： 2018年4月1日

改定日： 2020年4月1日

見直し日： 2023年4月1日

代表取締役社長

本林 徹也

4. 環境経営目標

(本社工リア) 金型統括部(プラ金型、タイヤ金型)、総務・安全環境品証部
予算見直しに合わせて、10月に目標の中間見直し実施
2023、2024年度は2022年期首に設定した値

環境経営目標		単位	基準	目標			
			2021年度ベース	2022年度 (期首)	2022年度 (中間見直し)	2023年度	2024年度
1	二酸化炭素総排出量の削減	生産高比 t-CO2/百万円	1.10	1.09※3	1.05※3	1.08※3	1.07※3
		基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 4	▲ 2	▲ 3
		排出量 t-CO2/年	1,191	1,279※2	1,128※2	1,456※2	1,622※2
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	2,696,453	2,910,000※1	2,572,000※1	3,300,000※1	3,670,000※1
	1-2 LPG使用量の削減	使用量 kg/年	8,733	9,000※1	6,870※1	13,000※1	16,000※1
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L/年	6,701	6,640	5,700	6,575	6,510
2	廃棄物の削減	生産高比 t/百万円	0.150	0.149※4	0.151※4	0.148※4	0.147※4
		基準年度比 %	—	▲ 1	1	▲ 2	▲ 3
		排出量 合計 t/年	163.6	177.0※1	162.0※1	207.0※1	255.0※1
	2-1 埋立廃棄物	排出量 t/年	2.0	2.0	3.0	4.0	4.0
	2-2 リサイクル廃棄物		62.3	60.0	59.1	78.0	95.0
	2-3 有価物(金属、樹脂)		99.3	115.0	99.9	125.0	156.0
3	OA用紙使用量の削減	基準年度比 %	—	▲ 2	▲ 3	▲ 2	▲ 3
		使用量 カウント/年	272,661	270,120	265,930	267,420	264,750
4	水使用量の削減	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 1	▲ 2	▲ 3
		使用量 m3/年	2,145	2,122	2,122	2,102	2,082
5	化学物質の適正管理	—	—	新規品のSDシート管理強化			
6	グリーン購買の推進 «個数»	基準年度比 %	—	+1	+1	+2	+3
		グリーン購買率 %	34.6	35.6	35.6	36.6	37.6
7	社会貢献活動への参加	活動回数/年	2	2	2	2	2
8	教育・訓練計画	回数/年	4	4	4	4	4

※1 電力・LPG使用量、産廃排出量の目標は、各年度の目標生産高を反映した値
※2 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値
※3 生産高比CO2排出量は 年間CO2排出量／年間生産高 の値
※4 生産高比産廃排出量は 年間産廃排出量／年間生産高 の値

・二酸化炭素排出係数
電力：0.426kg-CO2/kWh（中部電力2019年度 調整後排出係数）、LPG：3.00kg-CO2/kg（環境省HP公開値）、
ガソリン：2.32kg-CO2/kg（環境省HP公開値）、軽油：2.58kg-CO2/kg（環境省HP公開値）

(営業所エリア) 中部営業所、関東営業所・群馬事務所、関西営業所

予算見直しに合わせて、10月に目標の中間見直し実施

2023、2024年度は2022年度期首に設定した値

環境経営目標	単位	基準	目標			
		2021年度ベース	2022年度 (期首)	2022年度 (中間見直し)	2023年度	2024年度
1 二酸化炭素総排出量の削減	売上高比 t-CO2/百万円	0.0182	0.0181 ※3	0.0167 ※3	0.0178 ※3	0.0177 ※3
	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 1	▲ 2	▲ 3
	排出量 t-CO2/年	39.5	40.5 ※2	38.7 ※2	43.3 ※2	46.4 ※2
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	52,412	52,400 ※1	52,400 ※1	56,065 ※1
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L/年	7,426	7,760 ※1	6,970 ※1	8,285 ※1
2	お客様環境負荷低減商品の 拡販	対売上目標達成率 %	101.7	100 ※4	100 ※4	100 ※4
3	OA用紙印刷数の削減	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 2	▲ 4
		使用量 カウント/年	404,343	400,305	399,735	396,290
4	水使用量の削減	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 1	▲ 2
		使用量 m3/年	242	239	239	236
6	グリーン購買の推進 «個数»	基準年度比 %	—	+1	+1	+2
		グリーン購買率 %	37.4	38.4	38.4	39.4
7	社会貢献活動への参加	活動回数/年	3	3	3	3
8	教育・訓練計画	回数/年	12	12	12	12

※1 電力・ガソリン/軽油 使用量の目標は、各年度の目標売上高を反映した値

※2 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※3 売上高比CO2排出量は 年間CO2排出量/年間売上高 の値

※4 お客様環境負荷低減商品拡販の対売上目標達成率は100%以上で目標達成

・二酸化炭素排出係数

電力：中部営業0.426kg-CO2/kWh（中部電力2019年度 調整後排出係数）

関東群馬営業0.441kg-CO2/kWh（関東電力2019年度 調整後排出係数）

関西営業0.318kg-CO2/kWh（関西電力2019年度 調整後排出係数）

ガソリン：2.32kg-CO2/kg（環境省HP公開値）

軽油：2.58kg-CO2/kg（環境省HP公開値）

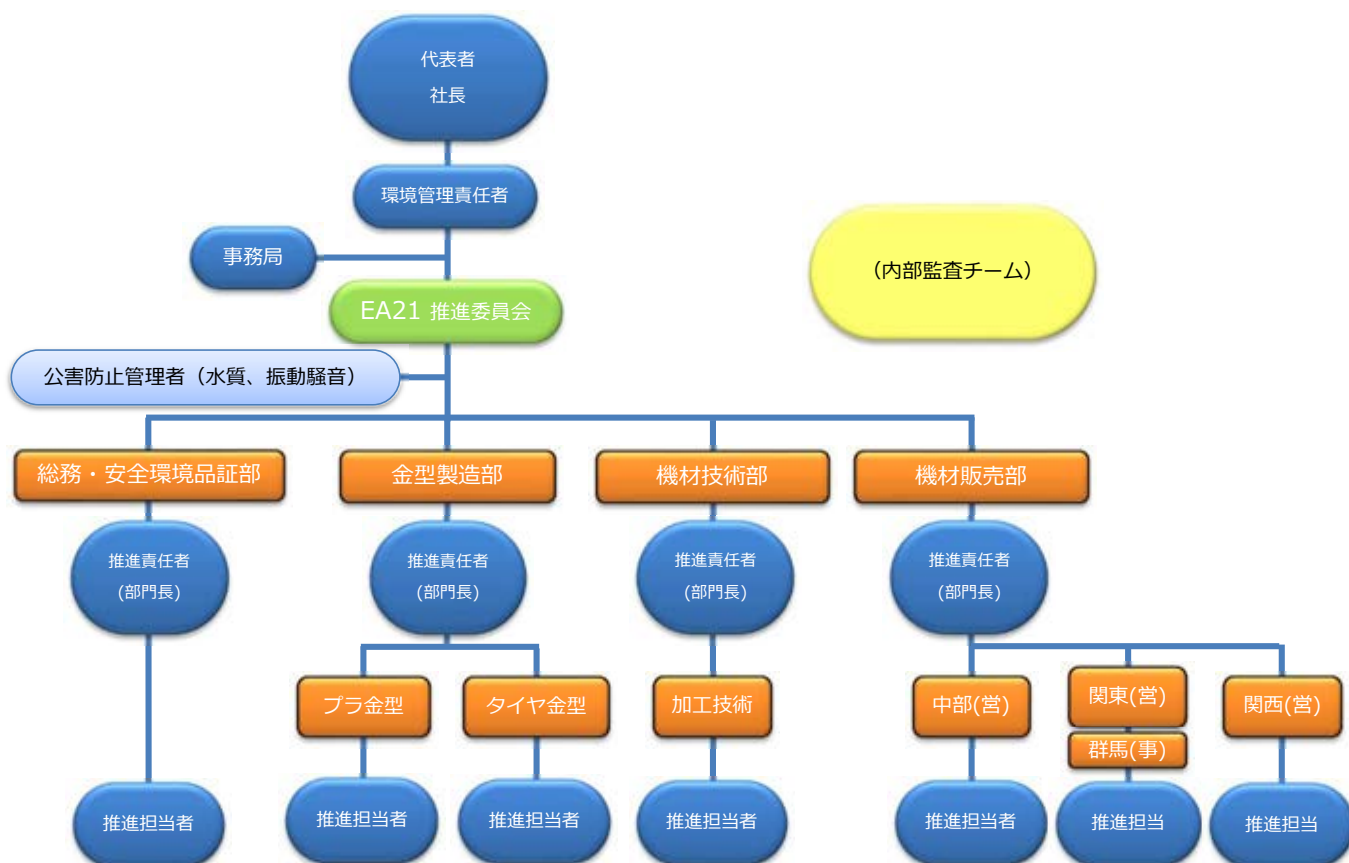
5. 環境経営計画（取組内容）

環境経営目標		担当部署	取組み内容
1	二酸化炭素総排出量の削減	各部門	・エアコン温度、台数適正管理（全部門） ・未使用室のエアコンOFF活動（全部門） ・工場照明LED化(プラ) ・停止設備電源off活動（プラ、タイヤ） ・省エネエアコンへの切替（プラ、タイヤ） ・残業時間の削減（総務、各営業所）
	1-1 電力使用量の削減		
	1-2 LPG使用量の削減		・品質活動による不具合再製作ゼロ
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	各部門	・エコ運転の実施（全部門） ・web会議による無駄な車移動削減（全部門） ・低燃費フォークリフト導入（プラ） ・電動リーチの活用（タイヤ） ・ITツール活用による拡販推進（各営業所） ・長距離 最新ハイブリッド社用車の優先活用（各営業所）
2	廃棄物の削減	プラ、タイヤ 製造部門	・成形品粉碎による有価物化（プラ） ・定期設備保全実施（プラ、タイヤ） ・品質活動による不具合再製作ゼロ（プラ、タイヤ）
3	お客様環境負荷低減商品の拡販	各営業所	・ハイスサイクル向けベリ銅 - ITツール活用によるお客様へのPR（各営業所）
4	OA用紙使用量の削減	各部門	・PDF化、注文書入力項目簡素化（プラ） ・1枚集約印刷の推進（タイヤ、各営業所） ・コピーミス減 → 印刷設定等の再確認（総務）
5	水使用量の削減	各部門	・適正水量の励行 ・節水の意識向上
6	化学物質の適正管理	プラ、タイヤ 製造部門	・新規品のSDS管理 ・SDS最新版管理の徹底
7	グリーン購買の推進 «個数»	全部門	・価格差10%ならグリーン商品購入 ・文房具他購入品への対応呼掛け
8	社会貢献活動への参加	各部門	・半田市アダプトプログラム対応（本社エリア） ・table for twoプログラム参加（本社エリア） ・営業所周辺等の美化活動（営業所エリア）
9	教育・訓練計画	全部門	・環境教育・内部コミュニケーション （環境目標、実績説明他） ・緊急事態の訓練

◆計画の実施 〈 Do 〉

6. 環境経営計画に基づく実施体制

環境経営マネジメント 組織体制



役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境経営責任者 ・ 環境経営方針の策定、見直し 及び 全従業員へ周知 ・ 環境経営システムの実施に必要な資源（人、資金等）の準備 ・ 環境管理責任者 と 公害防止管理者（有資格者） の任命 ・ 環境経営システム全体の評価 と 見直し の指示
環境管理責任者	・ 環境経営システム の構築、実施、運用 及び 管理 ・ 環境経営の運用実績、改善提案 を代表者へ報告 ・ EA21推進委員会の主宰 ・ 環境管理文書の確認と承認 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表 の承認 ・ 環境経営目標、環境経営計画書 及び 環境経営レポートの承認
環境事務局	・ 環境管理責任者 の支援、事務局業務 ・ 環境負荷の自己チェック 及び 環境への取り組みの自己チェック の実施 ・ 環境関連法規等 最新版管理 ・ 環境管理文書作成 と 管理・周知 及び 教育・訓練 ・ 環境経営の実績集計 ・ 環境経営レポートの取りまとめ
公害防止管理者	・ 水質、騒音振動に関する施設の 運用・管理
E A 2 1 推進委員会	・ 環境経営計画の実施、運用 及び 管理に関する 報告 と 審議 ・ 環境経営情報の伝達
推進責任者（部門長）	・ 部門内における環境経営方針 の周知 ・ 部門内に関連する環境経営計画 の策定・実施 ・ 部門内の従業員に対する教育訓練 の実施 ・ 部門内に必要な手順書 の作成、手順書による実施、及び 管理 ・ 部門内の想定される事故、緊急事態への対応の為の手順書の作成、訓練、及び 管理 ・ 部門内の不適合に対する対策、処置
推進担当者	・ EA21推進委員会 の参加 ・ 部内への環境経営推進
全従業員	・ 環境経営方針の 理解 と 環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 環境経営への 提案、活動に参加
（内部監査チーム）	・ 環境経営に関する内部監査 の計画、実施 及び 報告

◆取組状況の確認及び評価 〈 Check 〉

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 実績・取組結果

(本社工リア) 金型統括部(プラ金型、タイヤ金型)、総務・安全環境品証部

予算見直しに合わせて、10月に目標の中間見直し実施

○:達成 ×:未達成

環境経営目標		単位	基準	2022年度			
			2021年度ベース	期首 目標	中間見直し 目標	実績	達成評価 (対中間見直し)
1	二酸化炭素総排出量の削減	生産高比 t-CO2/百万円	1.10	1.09 ※3	1.05 ※3	0.98 ※3	○
		基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 4	▲ 10	○
		排出量 t-CO2/年	1,191	1,279 ※2	1,128 ※2	1,080 ※2	○
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	2,696,453	2,910,000 ※1	2,572,000 ※1	2,454,512	○
	1-2 LPG使用量の削減	使用量 kg/年	8,733	9,000 ※1	6,870 ※1	8,244 ※1	×
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L/年	6,701	6,640	5,700	4,270	○
2	廃棄物の削減	生産高比 t/百万円	0.150	0.149 ※4	0.151 ※4	0.130 ※4	○
		基準年度比 %	—	▲ 1	+1	▲ 1	○
		排出量 合計 t/年	163.6	177.0 ※1	162.0 ※1	142.5	○
	2-1 埋立廃棄物	排出量 t/年	2.0	2.0	3.0	2.9	○
	2-2 リサイクル廃棄物		62.3	60.0	59.1	47.5	○
	2-3 有価物（金属、樹脂）		99.3	115.0	99.9	92.2	○
4	OA用紙使用量の削減	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 3	▲ 3	○
		使用量 カウント/年	272,661	270,120	265,930	263,323	○
5	水使用量の削減	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 1	▲ 32	○
		使用量 m3/年	2,145	2,122	2,122	1,456	○
6	化学物質の適正管理	—	—	新規品のSDシート管理強化			○
7	グリーン購買の推進 «個数»	基準年度比 %	—	+1	+1	▲ 1	×
		グリーン購買率 %	34.6	35.6	35.6	33.5	×
8	社会貢献活動への参加	活動回数/年	2	2	2	2	○
9	教育・訓練計画	回数/年	4	4	4	4	○

※1 電力・LPG使用量、産廃排出量の目標は、2021度の目標生産高を反映した値

※2 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※3 生産高比CO2排出量は 年間CO2排出量/年間生産高 の値

※4 生産高比産廃排出量は 年間産廃排出量/年間生産高 の値

・二酸化炭素排出係数

電力: 0.426kg-CO2/kWh (中部電力2019年度 調整後排出係数)、LPG: 3.00kg-CO2/kg (環境省HP公開値)、
ガソリン: 2.32kg-CO2/kg (環境省HP公開値)、軽油: 2.58kg-CO2/kg (環境省HP公開値)

(営業所エリア) 中部営業所、関東営業所・群馬事務所、関西営業所

予算見直しに合わせて、10月に目標の中間見直し実施

○：達成 ×：未達成

環境経営目標		単位	基準	2022年度			
			2021年度ベース	期首 目標	中間見直し 目標	実績	達成評価 (対中間見直
1	二酸化炭素総排出量の削減	売上高比 t -CO2/百万円	0.0182	0.0181 ※3	0.0167 ※3	0.0147 ※3	○
		基準年度比 %	－	▲ 1	▲ 8	▲ 19	○
		排出量 t -CO2/年	39.5	40.2 ※2	38.5 ※2	35.2 ※2	○
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	52,412	52,400 ※1	52,400 ※1	47,819 ※2	○
	1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L /年	7,426	7,760 ※1	6,970 ※1	6,410	○
3	お客様環境負荷低減商品の 拡販	対売上目標達成率 %	101.7	100 ※4	100 ※4	101.9 ※4	○
4	OA用紙印刷数の削減	基準年度比 %	－	▲ 1	▲ 2	▲ 7	○
		使用量 カウント/年	404,343	400,305	399,735	374,780	○
5	水使用量の削減	基準年度比 %	－	▲ 1	▲ 1	▲ 6	○
		使用量 m3/年	242	239	239	227	○
7	グリーン購買の推進 «個数»	基準年度比 %	－	+1	+1	▲8	×
		グリーン購買率 %	37.4	38.4	38.4	35.6	×
8	社会貢献活動への参加	活動回数/年	3	3	3	3	○
9	教育・訓練計画	回数/年	12	12	12	13	○

※1 電力・ガソリン/軽油 使用量の目標は、2021年度の目標売上高を反映した値

※2 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※3 売上高比CO2排出量は 年間CO2排出量/年間売上高 の値

※4 お客様環境負荷低減商品拡販の対売上目標達成率は100%以上で目標達成

・二酸化炭素排出係数

電力：中部営業0.426kg-CO2/kWh（中部電力2019年度 調整後排出係数）

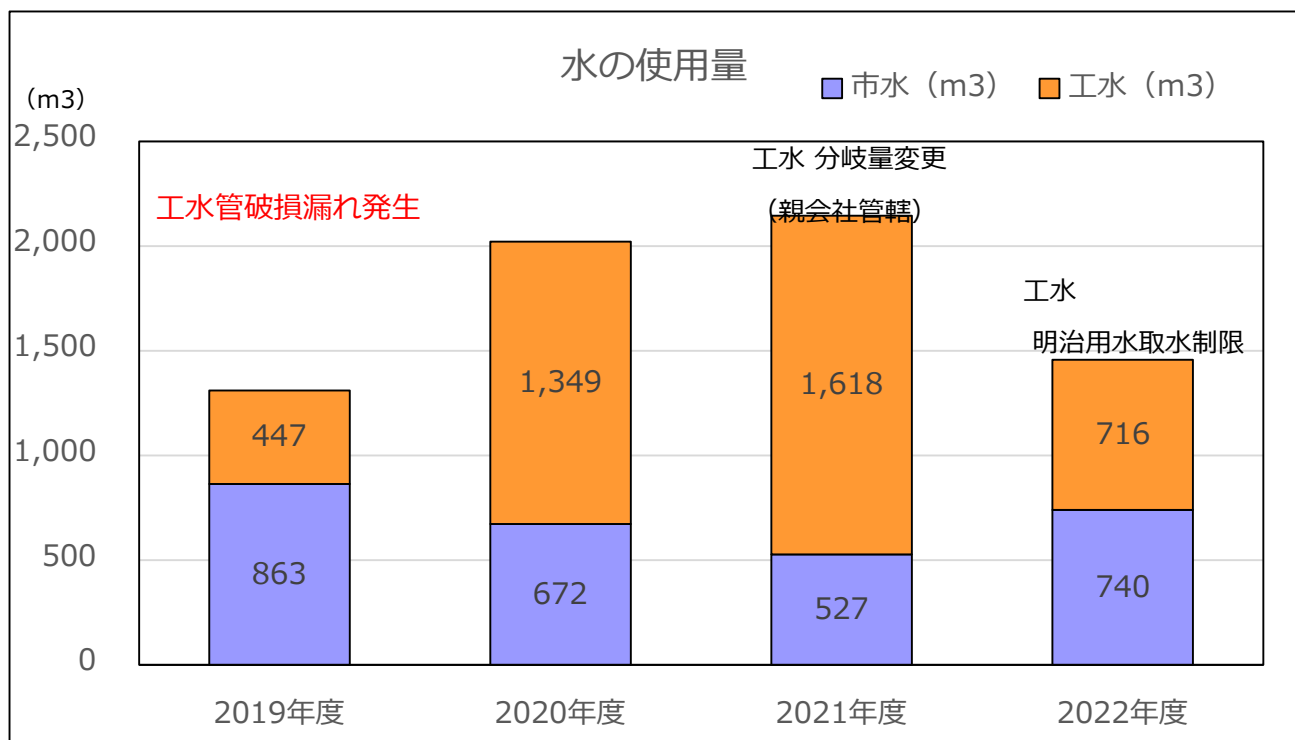
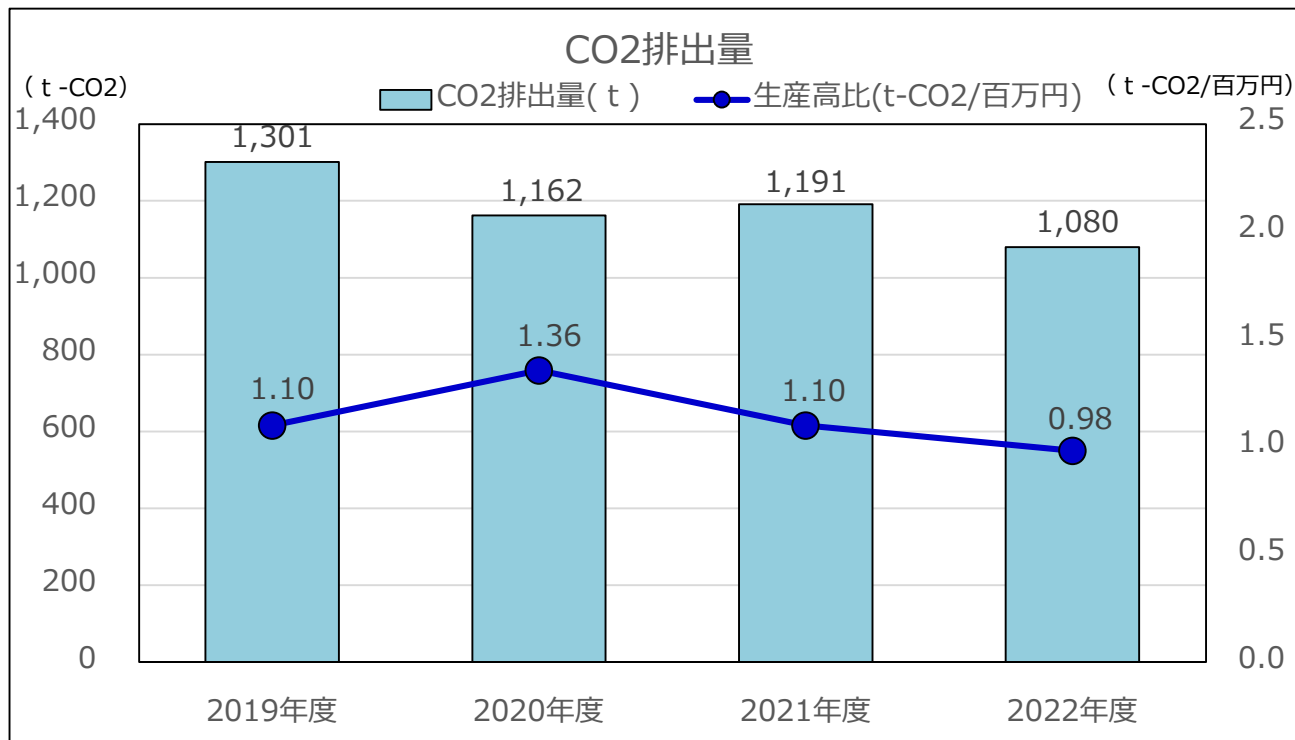
関東群馬営業0.441kg-CO2/kWh（関東電力2019年度 調整後排出係数）

関西営業0.318kg-CO2/kWh（関西電力2019年度 調整後排出係数）

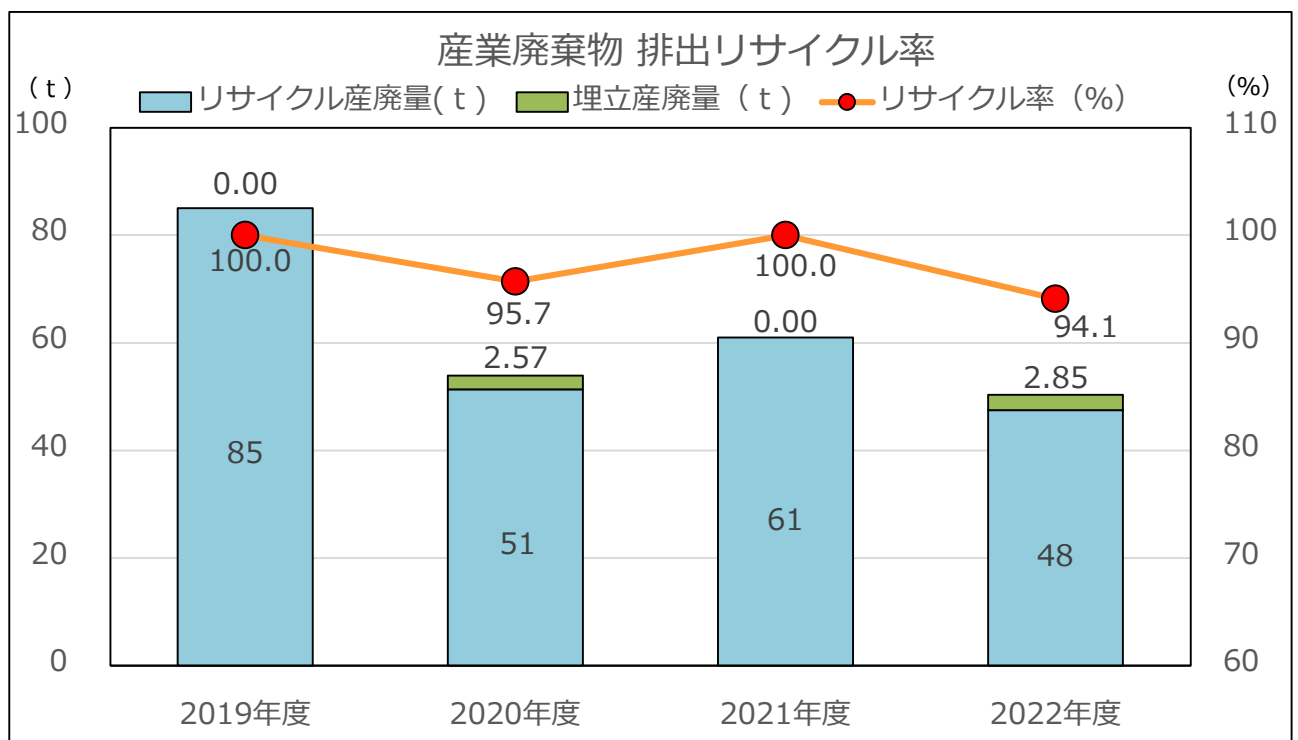
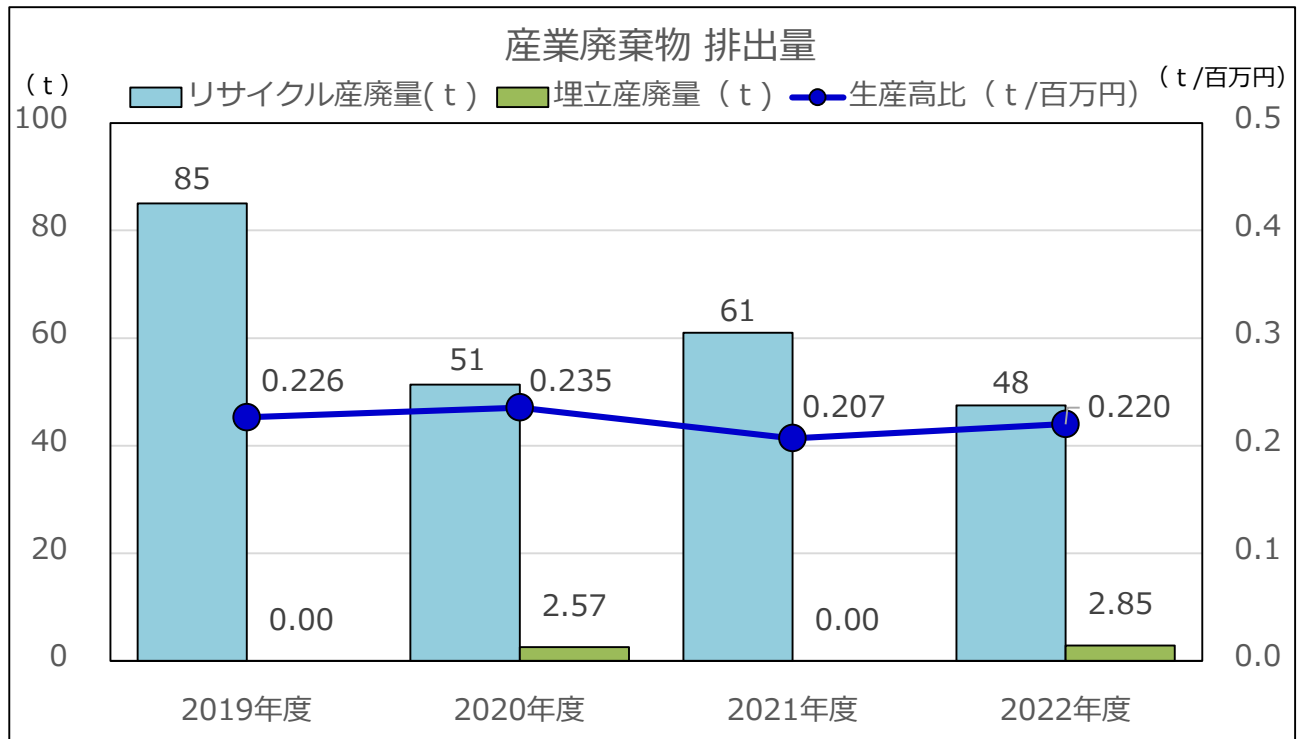
ガソリン：2.32kg-CO2/kg（環境省HP公開値）

軽油：2.58kg-CO2/kg（環境省HP公開値）

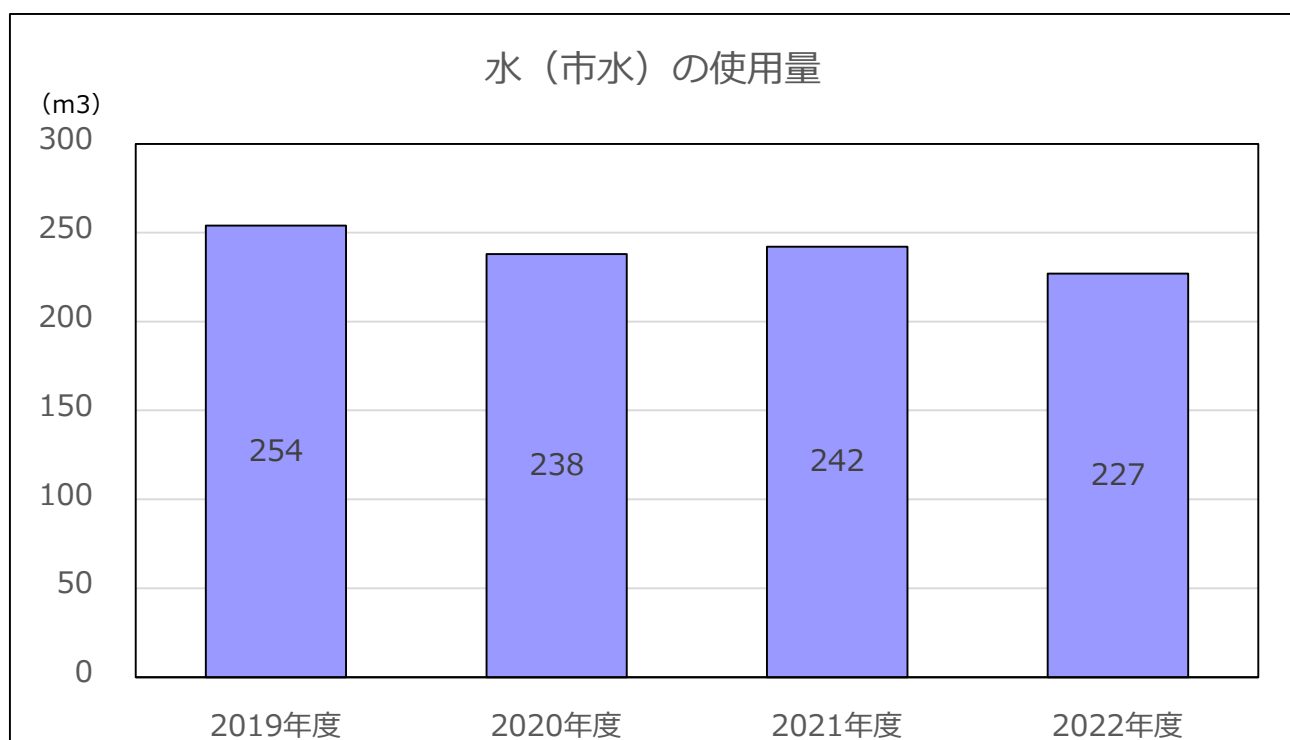
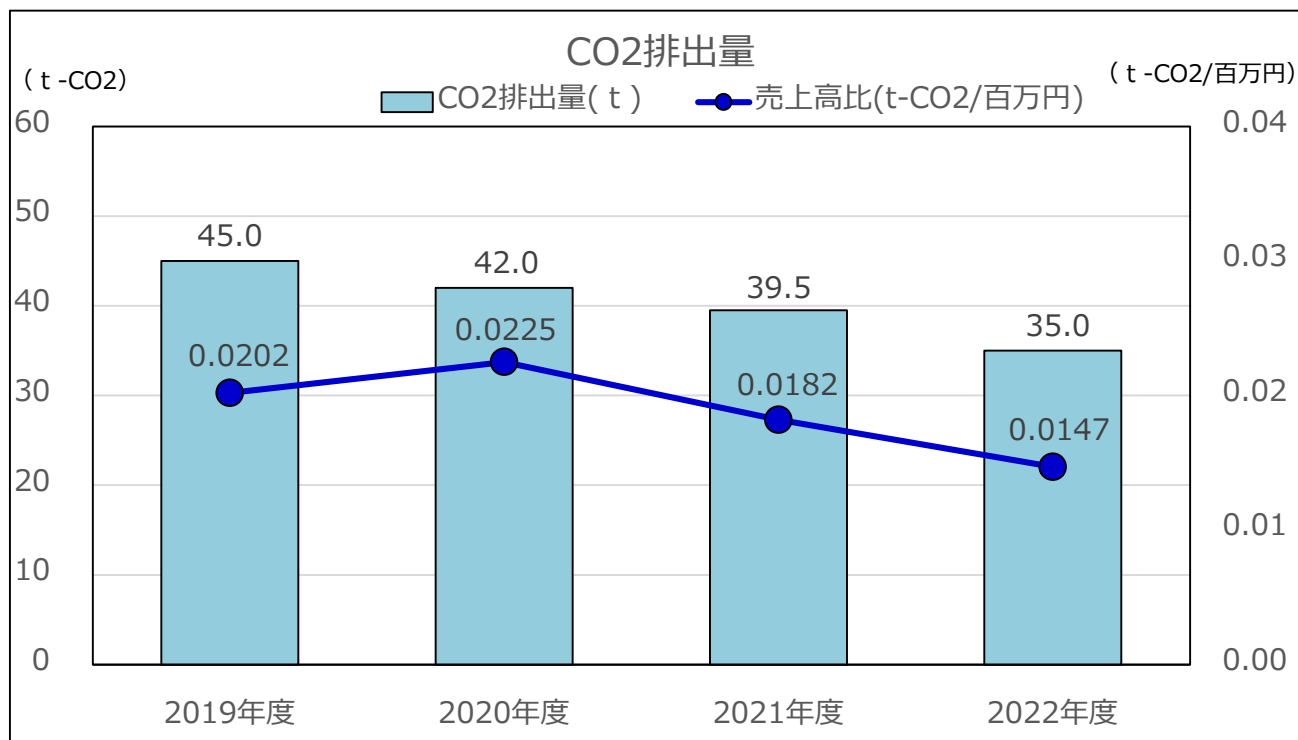
(2) 過去4年間の推移 (本社エリア①)



(本社エリア②)



(営業所エリア)



(3) 取組評価

○：達成 △：一部不十分 ×：未達成

環境経営目標		担当部署	取組み内容	取組み結果の評価コメント
1	二酸化炭素 総排出量の削減	各部門	・エアコン温度、台数適正管理（全部門） ・未使用室のエアコンOFF活動（全部門） ・工場照明LED化(プラ、タイヤ) ・停止設備電源off活動（プラ、タイヤ） ・省エネエアコンへの切替（プラ、タイヤ） ・残業時間の削減（総務、各営業所）	△ 従来のエアコン・機械設備管理に加え、 省エネエアコン入替 第3期完了 プラ、タイヤ金型工場照明LED化完了
	1-1 電力使用量の削減			
	1-2 LPG使用量の削減	タイヤ 製造部門	・品質活動による不具合再製作ゼロ	△ 不具合再製作2件発生
	1-3 ガソリン/軽油 使用量の削減	各部門	・エコ運転の実施（全部門） ・web会議による無駄な車移動削減（全部門） ・低燃費フォークリフト導入（プラ） ・電動リーチの活用（タイヤ） ・ITツール活用による拡販推進（各営業所） ・長距離 最新ハイブリッド 社用車優先活用（各営業所）	△ 従来のエコ運転に加え、コロナ影響による Web会議にて車移動低減 低燃費（電動）フォークリフト導入完了
2	廃棄物の削減	プラ タイヤ 製造部門	・成形品粉碎による有価物化（プラ） ・定期設備保全実施（プラ、タイヤ） ・品質活動による不具合再製作ゼロ（プラ、タイヤ）	○ 成形品粉碎有価物化6.4 t 実施 品質活動にて再製作等の異常不具合低減 →成形品、鑄造関連産廃低減 定期設備保全にて大きな設備修理が低減 →廃油量低減
3	お客様環境負荷 低減商品の拡販	各営業所	・ハイサイクル向けベリ銅 - ITツール活用によるお客様へのPR（各営業所）	○ 自社HP、BtoBデータベースHPにてPR実施 し、新規お客様からの問合せ増加
4	OA用紙使用量の削減	各部門	・PDF化、注文書入力項目簡素化（プラ） ・1枚集約印刷の推進（全社） ・コピーミス減 → 印刷設定等の再確認（総務）	○ 取組み内容が確実に実施され定着
5	水使用量の削減	各部門	・適正水量の励行 ・節水の意識向上	○ 掲示および水の再利用等実施し、 節水意識定着
6	化学物質の適正管理	プラ タイヤ 製造部門	・新規品のSDS管理 ・SDS最新版管理の徹底	○ 化学製品DBによるSDS管理定着
7	グリーン購買 の推進 «個数»	全部門	・価格差10%ならグリーン商品購入 ・文房具他購入品への対応呼掛け	○ 文房具以外へのグリーン商品購入も浸透
8	社会貢献活動 への参加	各部門	・半田市アダプトプログラム対応（本社エリア） ・table for twoプログラム参加（本社エリア） ・営業所周辺等の美化活動（営業所エリア）	○ 草刈りボランティア、清掃等 計画通り実施
9	教育・訓練計画	全部門	・環境教育・内部コミュニケーション （環境目標、実績説明他） ・緊急事態の訓練	○ 環境実績を定期配信し、各部門にて教育実施 油・石膏流出訓練、消化訓練を計画通り実施

(4) 次年度 経営目標・経営計画

(本社エリア) 金型統括部 (プラ金型)、機材技術 (タイヤ金型)、総務・安全環境品証部

環境経営目標		単位	基準	目標 ※1	目標 ※1	目標 ※1	担当 部署	取組み内容
			2021-2022年度ベース	2023年度	2024年度	2025年度		
1	二酸化炭素総排出量の削減	生産高比 t-CO2/百万	1.04	1.03 ※4	1.02 ※4	1.01 ※4	各部門	・室温管理の徹底 (夏28℃冬20℃) ・未使用室のエアコンOFF活動 ・ムダな残業、設備稼働ゼロ ・停止設備電源off活動 ・省エネ エアコン更新 (タイヤ工場) ・照明LED化 (プラ工場2F、外灯)
		基準年度比 %	－	▲ 1	▲ 2	▲ 3		
		排出量 t-CO2/年	1,135	1,157 ※3	1,198 ※3	1,232 ※3		
	1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	2,575,483	2,610,000 ※2	2,702,500 ※2	2,785,000 ※2	タイヤ 製造部門	・品質活動による不具合再製作ゼロ ・エコ運転の実施 ・web会議による無駄な車移動削減 ・電動リーチの優先活用 ・電動フォークリフトの優先活用
	1-2 LPG使用量の削減	使用量 kg/年	8,488	10,800 ※2	11,300 ※2	11,900 ※2	各部門	
1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L/年	5,457	5,530	5,630	5,740			
2	廃棄物の削減	生産高比 t/百万円	0.139 ※5	0.138 ※5	0.136 ※5	0.135 ※5	プラ タイヤ 製造部門	・成形品リサイクル契約見直しによる 有価物化 ・定期設備保全実施 ・品質活動による不具合再製作ゼロ
		基準年度比 %	－	▲ 1	▲ 2	▲ 3		
		排出量 合計 t/年	151.6 ※5	152.8 ※2 ※5	162.8 ※2 ※5	172.8 ※2 ※5		
	2-1 埋立廃棄物	排出量 t/年	2.8	2.8	2.8	2.8		
	2-2 リサイクル廃棄物		53.0	50.0	55.0	60.0		
2-3 有価物 (金属、樹脂)	95.8		100.0	105.0	110.0			
3	OA用紙使用量の削減	基準年度比%	－	▲ 1	▲ 2	▲ 3	各部門	・製作依頼書等PDF化横展開 ・注文書入力項目簡素化 ・1枚集約印刷の推進 ・顧客提出書類の整理と電子化 ・印刷設定等再確認(コピーミス減)
		使用量 カウント/年	263,323	260,600	258,000	255,400		
4	水使用量の削減	基準年度比 %	－	▲ 1	▲ 2	▲ 3	各部門	・適正水量の励行 ・節水の意識向上
		使用量 m3/年	1,801	1,783	1,764	1,747		
5	化学物質の適正管理	－	化学物質使用量 適正管理	化学物質使用量 適正管理	化学物質使用量 適正管理	化学物質使用量 適正管理	プラ タイヤ 製造部門	・新規品のSDS管理 ・化学物質DB管理
6	グリーン購買の推進 «個数»	基準年度比 %	－	+1	+1	+1	全部門	・価格差10%ならグリーン商品購入 ・文房具他購入品への対応呼掛け
		グリーン購買 率	33.5	34.5	35.5	36.5		
7	社会貢献活動への参加	活動回数/年	2	2	2	2	全部門	・半田市アダプトプログラム対応 ・table for twoプログラム参加
8	教育・訓練計画	回数/年	4	4	4	4	全部門	・環境教育・内部コミュニケーション (環境目標、実績説明他) ・緊急事態の訓練

※1 2023年度目標値は2022年度をベースに設定

※2 電力・LPG使用量、産廃排出量の目標は2022年度の目標生産高を反映した値

※3 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※4 生産高比CO2排出量は 年間CO2排出量/年間生産高 の値

※5 2022年度から業態変化により有価物も産廃に加え、生産高比産廃排出量は 年間産廃排出量/本社エリア全体の年間全生産高 の値
(2021年度まではタイヤ金型関係産廃が主であった為、埋立+リサイクル産廃/タイヤ金型関係生産高 で管理)

・二酸化炭素排出係数

電力：0.426kg-CO2/kWh (中部電力2019年度 調整後排出係数)、LPG：3.00kg-CO2/kg (環境省HP公開値)、
ガソリン：2.32kg-CO2/kg (環境省HP公開値)、軽油：2.58kg-CO2/kg (環境省HP公開値)

(営業所エリア) 中部営業所、関東営業所・群馬事務所、関西営業所

環境経営目標	単位	基準	目標 ※1	目標 ※1	目標 ※1	担当 部署	取組み内容
		2021-2022年度ベース	2023年度	2024年度	2025年度		
1 二酸化炭素総排出量の削減	売上高比 t-CO2/百万 円	0.0162	0.0161 ※4	0.0159 ※4	0.0158 ※4	全営業所	・エアコン温度、稼働台数管理 ・未使用OA機器の電源OFF ・業務ミス、品質トラブル低減による ムダな残業削減
	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 2	▲ 3		
	排出量 t-CO2/年	37.6	39.2 ※3	42.1 ※3	44.9 ※3		
1-1 電力使用量の削減	使用量 kWh/年	47,819	47,916 ※2	51,371 ※2	54,774 ※2	全営業所	・エコ運転実施 ・web会議による無駄な車移動削減 ・ITツール活用による拡販推進 ・最新ハイブリッド社用車の優先活用 (特に長距離)
1-3 ガソリン/軽油使用量の削減	使用量 L/年	6,917	7,240 ※2	7,769 ※2	8,287 ※2		
2 お客様環境負荷低減商品の 拡販	対売上目標達 成率 %	101.9	100 ※5	100 ※5	100 ※5	全営業所	・ハイサイクル向けベリ銅拡販 (IT拡販活用)
3 OA用紙使用量の削減	基準年度比%	—	▲ 1	▲ 2	▲ 3	全営業所	・製作依頼書等PDF化横展開 ・1枚集約印刷の推進 ・印刷設定等再確認(コピーミス減)
	使用量 カウント/年	374,780	373,577	369,804	366,033		
4 水使用量の削減	基準年度比 %	—	▲ 1	▲ 2	▲ 3	全営業所	・節水の呼び掛け(掲示)
	使用量 m3/年	227	225	222	220		
6 グリーン購買の推進 «個数»	基準年度比 %	—	+1	+2	+3	全営業所	・価格差10%ならグリーン商品購入
	グリーン購買 率 %	35.6	36.6	37.6	38.6		
7 社会貢献活動への参加	全営業所合計 活動回数/年	3	3	3	3	全営業所	・営業所周辺等の美化活動
8 教育・訓練計画	全営業所合計 回数/年	13	12	12	12	全営業所	・環境教育・内部コミュニケーション (環境目標、実績説明他)

※1 2023年度目標値は2021-2022年度をベースに設定

※2 電力・ガソリン/軽油 使用量の目標は2023年度の目標売上高を反映した値

※3 年間CO2排出量は下記 二酸化炭素排出係数にて算出した値

※4 売上高比CO2排出量は 年間CO2排出量/年間売上高 の値

※5 お客様環境負荷低減商品拡販の対売上目標達成率は100%以上で目標達成

・二酸化炭素排出係数

電力：中部営業0.426kg-CO2/kWh (中部電力2019年度 調整後排出係数)

関東群馬営業0.441kg-CO2/kWh (関東電力2019年度 調整後排出係数)

関西営業0.318kg-CO2/kWh (関西電力2019年度 調整後排出係数)

ガソリン：2.32kg-CO2/kg (環境省HP公開値)

軽油：2.58kg-CO2/kg (環境省HP公開値)

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

年次総合評価日：2023年5月19日

法規制など	対象	順守項目	基準	確認 頻度	2022年度 総合評価	備考
半田市環境保全協定	排水	pH	5-9	毎月	○	
		SS	25mg/ℓ以下	毎月	○	
		COD	25mg/ℓ以下	毎月	○	
		N-ヘキサン	2mg/ℓ以下	毎月	○	
	騒音	工場敷地境界	65db以下	毎年	○	
	振動	工場敷地境界	70db以下	毎年	○	
	緑化（工場立地法）	緑化率	20%以上	都度	—	2018年提出から変更無し
浄化槽法	保守点検	業者点検	—	毎月	○	
	定期検査（11条検査）	行政検査	愛知県薬剤師会	毎年	○	
愛知県条例 (県民の生活環境の保全等に 関する条例)	騒音	特定施設の届出	原動機の定格出力が3.75kw 以上の圧縮機・送風機	設置時	○	
	振動	特定施設の届出		設置時	○	
消防法	危険物関連	特定施設の届出	届出内容の変更時	都度	○	
	防火設備点検		業者点検	毎年	○	
フロン排出抑制法	冷凍機、空調機	簡易点検	自主点検	3ヶ月	○	
		定期点検 (7.5kW～50kW)	業者点検	3年	—	2022年度 対象機器無し
		回収依頼書/委託確認書 引取証明書	適正な運用 ※3年間保管	都度	○	
家電リサイクル法	TV、洗濯機、冷蔵庫、エアコン	—	適正な廃棄	都度	—	2022年度 排出無し
小型家電リサイクル法	PC関連機器、デジカメ等	—	適正な廃棄	都度	○	
県外産業廃棄物搬入届出	岐阜県	汚泥	業者点検	毎年	○	
産業廃棄物の様式3号届出	愛知県・半田市	—	管理票の交付状況報告	毎年	○	
廃棄物処理法 (産廃物の適正処理の促進に 関する条例)	産業廃棄物 保管基準の遵守	—	適正な保管	常時	○	
	管理票（マニフェスト）の運用	—	適正な運用 ※5年間保管	都度	○	
	委託契約書	—	適正な契約	都度	○	
	水銀含有品（蛍光灯、電池類）	—	適正な廃棄	都度	○	
化管法	化学物質（PRTR制度対象物質）	—	適正な保管	都度	○	
道路交通法	交通事故等による環境被害	—	業務上での交通事故等の発生時、 環境影響無き事	都度	○	

・環境関連法規などの遵守状況の確認 及び 評価の結果、違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

・外部からの環境に関する苦情、要望、訴訟もありません。

◆全体の評価と見直し 〈 Action 〉

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し日：2023年4月1日

	項目		確認	必要に応じて評価・コメント記載
1、 見直し 関連 情報	1	エコアクション21文章	☒	前年より変更無し 継続
	2	環境経営目標 及び 目標達成状況	☒	大部分の項目において目標達成
	3	環境経営計画 及び 取組み実施状況	☒	問題無し来期も継続
	4	環境関連法要求一覧 及び 遵守状況	☒	計画通り見直し行い、厳守状況問題無し
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	指摘無し
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	☒	指摘無し
	7	取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部動向	☒	特に変化無し
	8	その他	☒	特に無し
2、 代表者 による 全体 評価・ 見直し 指示	全体評価・コメント (EMSの有効性、環境への取組みの適切性等)		全体に生産部門は生産高の減はあるも計画通り進行。 EMSは良好に機能していると判断できる。	
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	(有)	無 EA21外部審査による見直し 『環境経営の継続的改善』の表記を追加
	2	環境経営目標・計画	有	(無)
	3	環境経営計画・取組み項目	有	(無)
	4	環境経営に関する組織	有	(無)
	5	その他のシステム要素	有	(無)
	6	その他（外部への対応等）	有	(無)

◆その他

活動トピックス

(1) 実績・取組結果 — 使用電力削減活動

本社エリアのCO2排出の最大要因は電力使用です。

この電力使用量削減は、これまでのエアコン温度管理、未使用時の機械設備電源・照明OFF等ソフト面の活動だけでした。2020年度より従来のソフト面に加え、ハード面の改善として省エネ エアコンおよびLED照明への切替えを進め、2022年度はエアコン2台の入替え、及び、工場メタルハライド照明のLED化を行いました。

2023年度は工場 事務系居室照明のLED化および省エネエアコン切替え2台を予定しています。



省エネ エアコンへの切替え
(プラ金型工場)



LED照明への切替え
(プラ金型工場)



(タイヤ金型工場)

(2) 社会貢献活動 — 事業所周辺 清掃・美化活動

本社エリアは半田市の清掃・美化活動ボランティア「半田市公共施設アダプトプログラム」に参加し、2回/年 事業所周辺の草刈り・除草活動を行っています。

また、各営業所も1回/年 営業所周辺の美化活動を行っています。



本社エリア：草刈りボランティア



営業所エリア：美化活動
(中部営業所)



(関西営業所)

◆その他

活動トピックス

(3) 教育・訓練

・防災訓練

全従業員を対象とした避難誘導、救出・救護、通報、初期消火等の緊急時訓練を行い、震災や火災による被害を最小限にとどめると共に、防災に対する意識の向上を図る事を目的に実施。(1回/年)
また、2021年度よりアルミ溶解炉の火災を想定した消火訓練も実施しております。



本社エリア：避難訓練



本社エリア：消火訓練



本社エリア：救護訓練



営業所エリア：消火訓練
(関東営業所)



営業所エリア：避難訓練
(関東営業所)

・環境上の緊急事態時の訓練（油、石膏排水流出訓練）

当社は環境上の緊急事態として油、石膏排水の外部流出を想定しています。

これに対して、1回/年の訓練を実施し、環境に関する危機管理能力向上を図っています。



水門 開閉手順確認



雨水枡への油流出対応訓練



油 ブラッシング除去訓練
(アースクリーンで希釈)

環境経営レポートに関するお問い合わせ先

NGKファインモールド株式会社 安全環境品証部 環境事務局

〒475-0823 愛知県半田市港町四丁目5番地6

TEL : (0569)23-5885 FAX : (0569)23-5974

<http://www.ngk-fine-molds.co.jp/>



NGKファインモールド株式会社